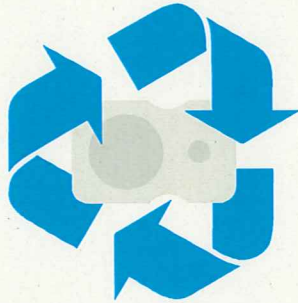


背景

使い捨てコンタクトレンズの空ケースは、メーカー問わず全てポリプロピレンという素材で作られており、非常にリサイクルに適しています。そのため、アイシティではコンタクトレンズ販売店としてこの活動をスタートさせました。

2010年～2012年まではアイシティ内のみでの取り組みでしたが、2013年より様々な企業様、学校様と活動をさせていたがいております。しかし、空ケースのリサイクル比率は未だ全体の1%未満にすぎません。



社会貢献

「アイシティecoプロジェクト」は3つの社会貢献につながっています。



空ケースの再資源化による環境保全

ゴミとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルを行うことでCO₂排出量を削減します。再資源化された安価な材料は、様々な製品に生まれ変わります。



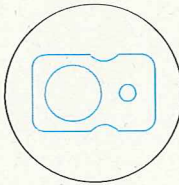
使い捨てレンズ
空ケース

リサイクル工場
粉々に粉砕されます

加工され、再生ポリプロピレン
素材へと変身します

様々なリサイクル品に
生まれ変わります

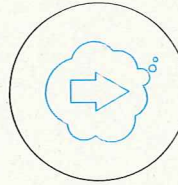
これまでの回収量と寄付金額



累計 (2021年3月末時点)

389.96t

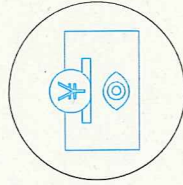
(空ケース約3億8千万個分) を回収しています。



累計 (2021年3月末時点)

1,080.19t-CO₂

(東京ドーム64.7個分) の二酸化炭素の削減に貢献しています。



累計寄付金額 (2021年3月末時点)

9,145,731円

リサイクルにより得られた対価の全額を日本アイバンク協会へ寄付しました。



障がい者の自立・就労支援

アイシティの障がい者部門「市川チャレンジオフィス」では店舗や眼科で回収された空ケースのアルミシールをはがすなど、リサイクルの支援業務を行っています。また、就労の支援として全国の社会福祉施設で作られた手作り小物を年間8万個買い取り、ご協力いただいたお客様へ、お礼としてアイシティ店舗にてプレゼントしています。



▶市川チャレンジ
オフィスの
作業風景

▲手作り小物 制作中の様子



(公財) 日本アイバンク協会への寄付

空ケースをリサイクル業者に買い取っていただいた収益を全額日本アイバンク協会に寄付しています。アイバンクは角膜の病気による視力障害の方の視力回復のために、角膜移植を待つ方とドナーの架け橋の役目を果たしています。アイバンクへの献眼登録の普及活動や献眼希望者が亡くなった時に角膜の摘出を手配する活動を行っています。

